



2025.8.8

瀬戸ひなご幼稚園園長 神戸洋美

戦後 80 年を経て

毎年8月になる度に、命の尊さについて深く考えます。あの第二次世界大戦で、尊い命を失った犠牲者は310万人にも及びました。自分が今、この世に存在しているということは、ご先祖様が悲惨な戦争を生き抜いてきたからこそです。生きていく奇跡に感謝し、次の世代に命を繋げていくこと、二度と戦争を繰り返さないことを伝えていくことが、我々の責務だと思います。



今、こうしている間にも、世界のどこかで民族や思想の違いで争いが起き、尊い命が奪われています。特に最近、世界各国で戦争が起き、罪のない一般の人々、女性や子どもが巻き込まれている悲惨なニュースを見るたび、武器や暴力によって問題を解決しようとする人間の愚かさに、我々は世界中を破壊してしまったあの戦争から、何も学んでいない現実が心痛みます。

今年は終戦から80年、戦後生まれの方々が人口の87.9%を超え、九割近くの方が「戦争を知らない世代」となりました。自らの体験として戦争を語れる世代は少なくなってきましたが、先人たちの知恵と勇気と力によって作り上げられた歴史を決して風化させないことが我々の使命です。

先日、「愛知・名古屋 戦争に関する資料館」を訪れました。県民の方から寄せられた、戦争に関する実物資料の展示を行い、戦争体験を次の世代に引き継ぎ、戦争の残した教訓や平和の大切さを学ぶことにより、平和な社会を築いていくことを目的としています。機会がありましたら、お出かけください。

特に最近危惧しているのは、日本の子どもたちの幸福度についてです。世界の子どもの幸福度ランキングで、データのある36か国中、1位はオランダ、2位はデンマーク、3位はフランスです。幸福度は「身体的健康」「精神的幸福度」学問などの能力に関する「スキル」の3つの分野に分かれます。



日本の子どもたちは14位で比較的上の方で、「身体的健康」が1位、「スキル」は12位ですが、「精神的幸福度」は32位と低く後ろから5番目。この要因は若者の自殺率が4番目に高くなったことが原因だそうです。

今、朝ドラの「あんぱん」で「何のために生まれて、何のために生きるか。それは人を喜ばせることや。人生は喜ばせごっこや」という言葉が出てきます。生きていくことが、ご両親や家族、周りの人たちの喜びになること、命があるだけでそれが尊いことなのだということを、親として教育者として、子どもたちに伝えていきたいと思っています。

超猛暑を乗り切る

夏休み前半を終えて、7月30日から始まった夏季保育。久しぶりに幼稚園に登園した子どもたちの笑顔を見て、その元気な姿に安心しました。今年の夏は猛暑だった昨年の気温をさらに上回って、40℃を超える超猛暑日？が続き、連日のニュースは天気の間が長く、それを見ているだけで更に暑さが増して・・・。

昨日からやっと降った雨でジューっと日本全体が冷やされた感があり、少しは猛暑が収まりそうですが、それでも連日30℃越えの気温が続きます。明日から後半の夏休みに入ります。終業式に夏休みを楽しく過ごす5つの約束を、子どもたちに伝えました。ぜひ、お子さんと一緒に確認しながら、超猛暑日を楽しんで乗り切ってください。元気な夏休みを過ごしていただければと思います。また2学期にお会いしましょうね。

- ① 早寝早起き、朝ご飯（早く寝て早く起きて、朝ご飯をきちんと食べる）
- ② 食べすぎ、飲み過ぎに注意（食べすぎたり、冷たいものを飲み過ぎたりしないで、体調を整える）
- ③ お手伝いをする（パパやママのお手伝いをする事で、家族の一員として認めてもらう）
- ④ 知らない人についていけない（色々な場所に出かけるので事件にあわないように）
- ⑤ 交通事故に気をつける（道路で遊んだり、飛び出したりしない）

